



令和2年12月8日

人間文化研究機構国立国語研究所長の選出について

大学共同利用機関法人人間文化研究機構では、国立国語研究所長 田窪 行 則 氏の任期が令和3年9月30日で満了することに伴い、選考を行った結果、現所長 田窪 行 則 氏を再任することとしましたのでお知らせします。

なお、田窪所長は再任のため、機構長が令和3年10月1日付けで発令し、任期は1年6ヶ月となります。

<問い合わせ先>

大学共同利用機関法人人間文化研究機構

事務局総務課長 関 口 隆

直通電話 03(6402)9209

国立国語研究所

管理部総務課長 草 薨 公

直通電話 042(540)4372

略 歴

田 窪 行 則
昭和25年8月20日生

昭和50年	3月	京都大学文学部卒業
同 52年	3月	京都大学大学院文学研究科修士課程修了
同 55年	3月	京都大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得満期退学
平成18年	3月	文学博士（京都大学）
昭和55年	4月	大韓民国東国大学校慶州分校日語日文科招聘専任講師 （国際交流基金教員拡充プログラムによる）
同 57年	4月	神戸大学教養部専任講師
同 59年	12月	神戸大学教養部助教授
平成 3年	4月	九州大学文学部助教授
同 8年	4月	九州大学文学部教授
同 12年	4月	九州大学大学院人文科学研究院教授
同 12年	10月	京都大学大学院文学研究科教授
同 22年	4月	人間文化研究機構国立国語研究所客員教授（平成26年3月まで）
同 26年	10月	人間文化研究機構国立国語研究所客員教授（平成27年9月まで）
同 27年	10月	人間文化研究機構国立国語研究所運営会議委員 （平成29年9月まで）
同 28年	4月	京都大学名誉教授
同 29年	10月	大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所長 （現在に至る）

※専門分野

言語学/理論言語学、語用論、意味論、統語論、琉球諸語、危機言語

※主な研究業績

- ・昭和62年 『格助詞』（共著）くろしお出版
- ・平成 元年 『指示詞』（共著）くろしお出版
- ・同 4年 『改訂基礎日本語文法』（共著）くろしお出版
- ・同 4年 『日本語研究資料集 指示詞』（共編）ひつじ書房
- ・同 6年 『日本語の名詞修飾表現』（編著）くろしお出版
- ・同 7年 『認知科学講座 言語』（共著）岩波書店
- ・同 9年 『音声と文法』（分担執筆）くろしお出版
- ・同 9年 『視点と言語行動』（編著）くろしお出版
- ・同 9年 岩波講座 言語の科学『言語の科学入門』（分担執筆）岩波書店
- ・同9年～11年 岩波講座 言語の科学（シリーズ共同編集：全11巻）岩波書店
- ・同 10年 『音声による人間と機械の対話』堂下修司他編（5編 音声対話過程のモデル化 第3章「談話管理理論による「よ」「ね」「よね」の研究」）
オーム社
- ・同 10年 岩波講座 言語の科学2『音声』（共著，編集および，手引き担当）
岩波書店
- ・同 10年 岩波講座 言語の科学6『生成文法』（共著，編集および手引き担当）
岩波書店
- ・同 11年 岩波講座 言語の科学7『談話と文脈』

- 岩波書店
- ・同 14年 岩波講座 日本語の文法4 『複文と談話』（共著，4章担当）岩波書店
 - ・同 22年 『日本語の構造－推論と知識管理』（単著）くろしお出版
 - ・同 25年 『琉球列島の言語と文化－その記録と保存』（編著）くろしお出版
 - ・同 28年 『琉球諸語と古代日本語』（共編著）くろしお出版
 - ・令和 2年 『データに基づく日本語のモダリティ研究』（共編著）くろしお出版
 - ・同 2年 *Handbook of Japanese Semantics and Pragmatics*（共編著および9章、15章担当） de Gruyter Mouton

※受賞歴

- ・平成3年 日本認知科学会論文賞